

【成分・分量】1g中
ジクロフェナクナトリウム...10mg
0-メントール...30mg
トコフェロール酢酸エステル...20mg
クロルフェニラミン塩基...1mg
添加物:1,3-ブチレングリコール、プロピレングリコール、ヒドロキシプロピルセルロース、エタノール、pH調節剤、その他1成分

【保管及び取扱い上の注意】

(1) 直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管してください。(2) 小児の手の届かない所に保管してください。(3) 火気に近づけないでください。(4) メガネ、時計、アクセサリー等の金属類、化粧品類、プラスチック類、床や家具などの塗装面等に付着すると変質することがありますので、付着しないよう注意してください。(5) 他の容器に入れないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)(6) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後はなるべく速やかに使用してください。

発売元
ラック薬品販売株式会社

◆お問い合わせ先◆
フリーダイヤル 0120-86-8998

製造販売元
東光薬品工業株式会社
東京都足立区新田2丁目1番23号

瀬田 健
瀬田 加藤

【効能・効果】

関節痛、肩こりに伴う肩の痛み、腱鞘炎(手・手首の痛み)、肘の痛み(テニス肘など)、筋肉痛、腰痛、打撲、捻挫

【用法・用量】

○1日3～4回適量を患部に塗布してください。ただし、塗布部位をラップフィルム等の通気性の悪いもので覆わないでください。なお、本成分を含む他の外用剤を併用しないでください。○15歳未満の小児は使用しないでください。

【用法・用量に関連する注意】

(1) 定められた用法・用量を守ってください。(2) 本剤は、痛みやはれ等の原因になっている病気を治療するのではなく、痛みやはれ等の症状のみを治療する薬剤ですので、症状がある場合だけ使用してください。(3) 本剤は外用にのみ使用し、内服しないでください。(4) 1週間あたり50mLを超えて使用しないでください。(5) 目に入らないよう注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水またはぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。(6) 使用部位に他の外用剤を併用しないでください。(7) 通気性の悪いもの(ラップフィルム、矯正ベルト等)で使用部位を覆い、密封状態にしないでください。(8) 塗布前にスポンジ面を患部に押し当て、薬剤がスポンジに浸透していることを確認してください。(スポンジが乾いたまま塗布するとスポンジが破れるおそれがあります)

火気厳禁 第二石油類 非水溶性
危険等級Ⅲ(エタノール)

副作用被害救済制度
電話 0120-149-931

ここから
開けてください

この説明文書はご使用前に必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう保管してください。

【使用上の注意】

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は使用しないでください
(1) 本剤または本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2) ぜんそくを起こしたことがある人。(3) 妊婦または妊娠していると思われる人。(4) 15歳未満の小児。
2. 次の部位には使用しないでください
(1) 目の周囲、粘膜等。(2) 皮膚の弱い部位(顔、頭、わきの下等)。(3) 湿疹、かぶれ、傷口。(4) みずむし、たむし等または化膿している患部。
3. 本剤を使用している間は、他の外用鎮痛消炎剤を併用しないでください
4. 長期連用しないでください

相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談してください
(1) 医師の治療を受けている人。(2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(3) 次の医薬品の投与を受けている人。ニューキノロン系抗菌剤
2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、痛み、刺激感、熱感、皮ふのあれ、落屑(フケ)、アカのような皮ふのはがれ、水疱、色素沈着

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮ふのかゆみ、じんましん、声のかすれ、しゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれます。
接触 皮膚炎、 光線 過敏症	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺激感、水疱・ただれ等の激しい皮膚炎症状や色素沈着、白斑があらわれ、中には発疹・発赤、かゆみ等の症状が全身に広がることもあります。また、日光が当たった部位に症状があらわれたり、悪化することがあります。

3. 5～6日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談してください